



# MASDAGOLF JOURNAL

## Topics

マスダゴルフ  
プロサポート  
スタート!

Pro Support



マスダゴルフは、2024年シーズンから国内男女ツアーのプロサービスをスタートいたします。

昨年、14本のマスダゴルフのクラブを使い、レギュラーツアーをフル参戦した野呂涼プロ。マスダウェッジを手にしてすぐにステップ・アップ・ツアーで優勝した鬼頭さくらプロ。

アマチュア時代から、マスダゴルフを愛用している永嶋花音プロや河野杏奈プロなど、すでに多くのツアープロが、フィッティングやクラブ調整のため、マスダゴルフを訪れています。

今季は、さらに充実したプロサービスで、プロたちの勝利をサポートいたします。



## 絶妙のバランスが生んだ 美形のフルチタンヘッド

JGF2024では、マスダゴルフにとって待望の新ドライバークラウドが発売される。それが「FBLチタンシリーズ8」だ。8とは、マスダゴルフがリリースする8番目のドライバークラウドという意味らしい。

設計した増田雄二は、「100点満点に近い完成度。今まで自分が作ってきたドライバークラウドの中で一番良いし、次にこれ以上のドライバークラウドを作れるのか自信がないくらいに会心の作」とその自信を隠そうとしない。

7番目のモデルである「FBLチタン」が、ティープックの重厚感のあるヘッドで、分厚い強弾道を生む正統派のアスリートモデルであるのに対して、今回の「シリーズ8」は、いわゆる「やさしさ」を求めて、より多くのゴルファーに向けられたドライバークラウドだ。

ヘッドは460ccのサイズ感を活かしつつ、シャローでもなくティ

プでもなく、非常にバランスの取れた安心感のある形状を持ち、マスダゴルフらしい強い弾道はそのまま直進性が高い。



現代のドライバークラウドの多くは、カーボンやタンングステンなど異素材をふんだんに使った大胆な重量配分で性能を引き出しているが、それとは対比的に「シリーズ8」は、フルチタンだからこそ出来る一体感とピュアな感

触を備えている。極めてオーソドックスで、奇抜なところがなく、それでいて優れた性能を引き出すというマスダゴルフの離れ業によって生まれたドライバークラウドだ。

「これはもう、本当に難しく、なにかひとつでも邪魔になる要素があると、構えにくくなったり、打感が悪かったり、性能が出せなくなったりする。何回もやり直して、本当にすべてのバランスが取れて、イメージが出せるヘッドになりました」と増田雄二は語る。

「いい顔」とはこういうものだとか教えてくれるような美形を持つ、マスダゴルフらしい快作の誕生だ。

ゴルフライター コヤマカズヒロ



What's  
New!

# STUDIO-5

2019年に発売した『STUDIO-3』に続いて、新たな形状のバター、『STUDIO-5』が登場します。幅広ピンタイプヘッドで、ネックが斜めに傾斜しているスラントネックが特徴のモデルです。3つの『STUDIO』バター、そしてクラシックなL字型の『TYPE-L』に続く、マダゴルフ第5のバターになります。

ピンタイプヘッドには、『STUDIO-2』のようなクランクネックが装着されることが多いものですが、意外とクランクネックを苦手としているゴルファーも多いのです。『STUDIO-5』は、スラントネックを採用することで、イメージが出やすく、操作性の高い性能を目指しました。



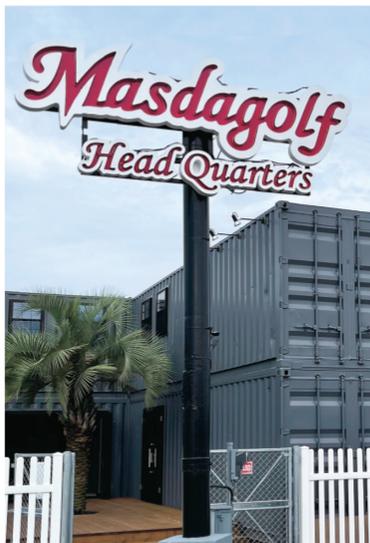
やさしさと操作性を備えた  
絶妙なスラントネック



スラントネックによって、マダゴルフのベストセラーウェッジ『M425』のように、ボールを包みこむようなふとこがあり、自在にラインを出していけるイメージの出しやすさを持たせています。

ヘッドは幅広で、座りの良さは抜群ですが、それでいて鈍重さが微塵もなく、スラントネックとのつながりまで絶妙なバランスに仕上げられています。その結果、プレーヤーが「静」から「動」に入りやすい、その人を感性を活かしやすい性能を持つバターになりました。

出球が揃いやすく、美しさと機能の高さを両立するマダゴルフらしいNEWモデルです。



## 「マダゴルフ R&Dセンター フィッティング対応出来ます」

マダゴルフでは、千葉県自社工場敷地内にR&Dセンターを設立しました。『トラックマン』による試打室を完備。高速なバッティンググリーンやアプローチ用の天然芝と砂質にこだわったバンカー練習場など、ゴルフに必要な環境にこだわった施設です。

ツアープロの対応や製品の研究開発をメインに活用している施設ですが、完全予約制で一般の方のフィッティングにも対応をはじめました。

マダゴルフのクラブを納得いくまで試すことが出来る環境と、プロサポートを行うスタッフによるフィッティングを提供します。

ぜひ、この充実した環境でマダゴルフのクラブを体験して下さい。

▶ ご予約については以下Informationへ



### Information

有限会社 マダゴルフ  
本社 R&Dセンター  
〒276-0017 千葉県八千代市平戸294-1  
TEL:047-406-5140 / FAX:047-406-5141  
MAIL:info@masdagolf.com

フィッティング  
ご予約

or

完全予約制  
・月曜日～土曜日  
午後1時～6時



公式サイト



オンラインショップ



Facebook



Instagram

Interview

増田雄二 (マダゴルフ代表)

## ショートインタビュー

— ドライバーとバター、NEWモデルが2機種も登場しています

うちはなかなか新製品を出さないとされているけど、アイデアはたくさんあるし、作りたいという気持ちはすごく強いです。実際のところ、開発はずっと続けているからね。これなら出せる、と自信を持って言えるものが、同じタイミングで出来た感じですね。



— ドライバーは大きくて寛容性の高いモデルです

2012年に出した『VP-6』はオフセットがついていたり、強い特徴があるモデルでしたが、今回の『FBLシリーズ8』は、本当にオーソドックスで極端なところがないドライバーです。それでいて、性能は抜群に良い。

今まで作ってきたドライバーの中で、一番良いものができたかもしれない。



— 『STUDIO-5』もすでに評判が良いようですね

試作品をラウンドに持って行って、同伴プレーヤーに打ってもらったら、あまりにやさしいから、「もっと打たせて欲しい」とみんなグリーンに自分のバターを持ってこなくなったよ(笑) そのくらいはつきりと良さがわかる仕上がりになりました。

ドライバーもバターもこれ以上のものがこの先作れるかなと思えるほどの自信作です。ぜひ、皆さんに試してもらいたいですね。



代表 クラブデザイン・製作総指揮  
増田 雄二 (ますだ ゆうじ)

自動車関係のエンジニア出身、金型の設計、製作など金属加工のスペシャリスト。その知識を生かして開発考案したバターを、当時最盛期だった尾崎将司のために改良を加えた『WOSS』を開発。空前の大ヒットモデルとなる。以降、尾崎将司のチーフデザイナーとして、ドライバーからバターまですべてのクラブの開発・製作を担当した。

その後、クラブデザイナーとして独立し、2004年に「マダゴルフ」を設立。トッププロとのやり取りの中で生まれた、常識にとらわれない独自の発想で、高機能・高品質のクラブを発表し続けている。

ゴルフ全般に造詣深く、本人もドラコンシニア王者の実績を持つ飛ばし屋。  
1962年熊本県生まれ。

MASDA GOLF